



Vol.48

2011年3月10日

学校法人コア学園
 飯田ゆめみらいICTカレッジ
 〒395-0823 長野県飯田市松尾明7591
 ☎0265-22-5111・FAX0265-22-5100
 URL ●http://yume-mirai.jp/
 E-mail ●info@iidanet.or.jp

日々の進化を求めて、自分自身に挑戦！



円高に起因する日本経済の低迷は、漸く少しずつ改善され、景気の回復が期待される場所ですが、国の内外を問わず様々な問題があり、大変厳しい現実があることも日々実感しております。卒業を迎えられた第二十三期の皆さんには、常に国の内外に眼を向け、時代の変化に乗り遅れることなく、柔軟に対応して欲しいと願うところです。今後のご健闘とご活躍を心からお祈りいたします。

南向きの大きな窓

生涯にわたり学び続ける姿勢を

学校長 坂巻道弘

これから皆さんが生きてゆく社会は、ますますグローバル化が進むとともに、価値観が多様化し、競争と技術革新が激化していくと思います。科学技術立国として世界をリードしてきたわが国も、近年、中国、韓国、インドをはじめとするアジアの国々に追われる一方、少子高齢化社会のもとたす歪みや経済の低迷など、様々な問題が顕著になりつつあります。いまだに、先行きの見えない深刻な経済状況が続いておりますが、このような状況下だからこそ、皆さんは将来を堅実に見つめ、少しでも明るい未来を築くために、常に前向きに学び続けることが求められます。苦しい時の学習は、いつの日か、必ず大きな実をつけるに違いありません。

学ぶということは、単に技術を身につけるとか、公式を暗記するとか、「マニュアル」を覚えるということだけではありません。先人たちが、工夫して身につけた、また時間を掛けて積み上げてきた技術や知識を確実に受け継ぎ、そこに自らの工夫を加え、次の世代に引き継いでいくことが求められます。そのためにも、日々進歩している技術革新に常に眼をむけ、少しでも自分の物にするために、新しい知識や技能の修得に果敢にチャレンジしてほしいと思います。

さて、卒業される皆さんは、本学在学中の二年間で様々なことを学びました。様々な資格取得に挑戦し、成果を上げることができました。一見簡単そうに見える資格でも、実際に取得することは大変です。合格に向けて準備をし、学習を深め、努力を重ねた結果として評価されることです。資格取得に挑戦することで身につけた、問題解決に向けて努力を重ねる姿勢は、今後ぶつかるであろう、さまざまな困難に打ち勝つための大きな力になると確信できます。

社会に出てからの学習は学生時代のものとは異なりますが、人間社会そのものを対象にする学習には変わりはありません。何事にも屈せず立ち向かってほしいと思うところです。社会に出てからは、「自ら課題を見出し、理論的に分析し、創造力豊かに物事を企画する力」、「自分の考えを周囲に伝え、説得させる表現力」も大切になります。こうした力は、いずれも受身の学習で身につくものではなく、自ら学び、考え、行動する能動的な学習を通じて、初めて自分のものになってきます。ぜひ生涯にわたり学び続ける姿勢を持ち続けてほしいと願うところです。おわりに、素晴らしい可能性を秘めた皆さんとの出会いができたことに感謝し、皆さんの人生に幸多からんことを心から祈念いたします。

それぞれの軌跡を残し、未来へ...

repentance

伊藤 嶺

この二年間の学校生活の中で大きな後悔をしたことといえば：基本情報技術者試験に合格できなかったことと卒業研究です。

基本情報技術者試験は長い間ゆめみらいでは合格者が出ていなかったらしいので燃えました。一年の半ばで基本情報技術者試験の一段下のレベルのITパスポート試験は取得できました。しかし基本情報技術者試験は全くの別次元でした。そのため普段の自分からは、かなり想像できない範囲で勉強をしました。まあ普段が勉強熱心ではなかったのでその努力は察していただければと思います。

午前から午後に行われる試験が終わった時、普段は冷静沈着な北澤君が興奮も冷めない様子で熱心に話して



てくれたのが印象に残っています。

そして結果は合格とはなりませんでしたが、午後の試験のあと一問、あと一点が取れていなかったのです。結果を見たとき、頭が真っ白になりました。人間、本当にくやしさと本当に頭が真っ白になるんですね。けれど同時に、あと一点で合格であろうが〇点を取ったときと同じ：等しく不合格なんだ、とも思いました。幾ら成功に近くとも基準から外れていけばそれは不成功なのです。

次に卒業研究ですが、ITスペシャリスト学科としては異色でプログラムを作りませんでした。ただひたすらに分析してその結果と考察を書いたのみです。それ自体は僕の好きなジャンルでしたし、丁度良いことに、そして先生方のお陰でア学園グループ全体でアンケートを採ってデータを得られることにもなりました。正直送られてくるであろう枚数を思うと憂鬱でしたが...

そして完全とはいえないけれども自分として満足いくものことができました。けれど後悔をしています。成果を発表することが上手いかなかったためです。各姉妹校対抗で発表する場がありました。特に時間配分を間違えました。というのも飯田校の中で発表したものと同じものを使ったため時間が余ってしまったのです。各姉妹校対抗で発表する日と飯田校の中で発表する日が急遽同じ日になったというところもあるのです



が、時間の関係で発表できたのは内容の半分以下。実際に他校の発表を見る

と明らかに劣っていました。このような場で自分の後悔のみを語るのもアレですが後悔から得るもの、学んだものもあつたと感じます。むしろ自分の中で成功したと思つた事からよりも得るものは大きかつたはず。というわけでこれからも後悔をして人生を歩んでゆこうと思います。

二年間の長さ

北澤慎太郎

入学してから卒業まではたったの二年間。入学直後は、二年間というのはそんなに長くは感じませんでした。二年生になったり、今度は後もう一年というのがとて長く感じたのですが、卒業が近くなると同時に一日がどんどん短くなって、あつという間に終

わつてしまいました。そんな、長いような短いような学校生活を送ってきて、様々なことがありましたが、面倒だなと思うこともありましたが、それを含めて楽しく二年間を過ごすことができた。今振り返って改めて思いました。

スポーツ大会では、あまり運動は得意ではなかったのですが、一年生の時は先輩やクラスメイトの皆がとて積極的で、自分も頑張らなくてはと思い、とても楽しい時間を過ごすことができました。二年生の時はバスケットと野球という自分的にはハードな種目になりましたが、終わってみれば全然大したことありませんでした。大会の次の日は必ず筋肉痛になりました。たぶん体を鍛えたほうがいいのだから。

資格取得では、先生方の分かりやすい指導があり様々な資格を取ることができました。IT系の資格としてITパスポート、基本情報を取得することができました。基本情報は、学校の数年ぶりの合格者になることができました。

と、ここまでいいのですが、じつはまだ就職先が決まっています。今振り返ってみれば、それほど就職活動には積極的に取り組んでいなかったな、と思いました。卒業したあと、自分がどんな道を行くのか、なかなか見当つきません。こんなことにならないようにもう少し就職活動に積極的だったら良かったのかな、と思ったりしました。

まあ、もう過ぎたことなのでまた今度考えることにします。

最後に、あまり話すことが得意ではない自分でしたが、この学校に来て様々な方と出会い、とても良い刺激を得ることができました。この学校と学校の先生方、先輩方、それからクラスメイトの皆に心から感謝いたします。ありがとうございました。

この学校での二年間を振り返って

桐生 孝志

高校でパソコン班に入っていたが、それ以外でパソコンに触れる機会は当時からなかった。しかし、この学校に入学してからはパソコンを毎日触るようになっていた。高校時代はブライントップなどできていなかった。しかし今は、ほぼ、ブライントップだ。

新入生歓迎会で行ったユニバーサルスタジオJPでは、単独行動をしていた。初めから単独行動をするつもりだった訳ではないが、必然的にそうなっていた。ずぶ濡れになったり、燃えそうになったり、昼食を落としたりと、一日で様々な経験をした。ETのアトラクションで貰ったカードが、今でも財布の中で森の香りを保っているのは秘密。

それから一年が過ぎ、二年目の春がやって来た。就職活動は、年の暮までかかったが、無事内定を頂けた。これでようやく積んでいた物を消化できると思いきや、卒業研究

が激化していった。

冬休み、何をやってたのか記憶にない。そんな空白の時を刻みながらも、刻々と時間は過ぎていった。構想を固めず、ただひたすらに作りたいと思つた物を作つていった結果、まとめ方に困ってしまった。それでも何とか形にするにはできたと思う。文字通り寝ず

にやめた日もあった。そして、とうとう本番がやってきた。前の発表者がひとり、またひとり発表を終えていくにつれ、私の鼓動は高まっていった。そして、いよいよ私の番になった。二年間の集大成ともいえるこの場は、重力が倍に感じられた。マイクとの距離感もまともに測れないような状況だった。そんな中、発表をした。唯一覚えていたことは、終わりに際して、脚がガクガクと震えたことくらいだ。卒業研究の成果である作品は、未完成の状態だが、発表会が終了して、正直燃え尽



きた感があり、作成を続ける意欲がわかない。しかし、始めたからには終わらせなくてはいけないのでやるほかないのだ。眠れない日々がまだまだ続きそうだ。

二年間…

櫻井 真也

この学校へ入学するにあたり、高校時代から関係のあったパソコン関係に興味があり、この学校でもと詳しく学んで就職に役立てばと思いい入学したのですが、実際授業を受けてみると当然のことながら分からないことだらけ、唯一理解が深かったのがビジネス学科が主に関係する、WordやExcelといった授業でした。そんなこともあり入学当初の考えとは逆に、

苦手分野となり授業をサボってみたい、授業内容が理解できないままということが度々あり、先生方に迷惑をかけ、卒業も危うくなっていました。今さらだがたくさん後悔があります。なんでちゃんと授業を受けなかったのか、授業に対する態度を変えようとした



かつたのか、などなど…。でもそんな中、怒られはしましたが先生方がどうにかなるよう補講をしてくださったり、いろいろ考えていたのだらうといういろいろな人たちの迷惑をかけてしまっていることを知り、絶対卒業してしつかりとした社会人になろうと思いい、朝眠いのも頭の痛いのも我慢し、面倒くさいと投げ出してはいた勉強にも前向きにしようと思いい目標を頑張ってきました。しかし、周りに掛けている迷惑に気づくのが遅く、今まで自分が物事から逃げて楽しめた分のツケが回り、補講、課題の量も多く踏ん張り時。

しんどいけどしょうがない…。こんなことなら真面目に学校来たらうた痛感していました。

そんな二年間の学校生活の中では、苦しいことだけではなく、楽しいこともありました。

夏季、秋季スポーツ大会・新入生歓迎会・卒業パーティーなどなど、大切な人、友達、先輩、後輩ができ、そう考えると学生らしい、充実した学校生活ができたんじゃないでしょうか。

多少、他のスペシャリスト学科の人たちよりは知識が浅いかもしれない、だらしなないかもしれない、けどこんな自分でも自分なりにいろんなことを学びました。

あと数日で社会人、今度はあまり迷惑をかけない人間にならなきゃ。社会人らしく胸張って行くつか。

松村先生を始め、一番二年生で関わりの多かった近藤先生、各担当の先生方、たくさん迷惑かけました、すみません…。お世話になりました。

卒業にあたって

田中 将寛

私は、この学校に入ってから現在に至るまでに、様々な体験や、勉強をしてきました。

オープンキャンパスの時に聞いた通り、この学校は少人数での授業が特徴的で、高校までの授業とは違い、質問がしやすく、分からないところがあったら分かるまで説明してくれたり、学習には最適なもので、そのおかげで様々な資格を取ることができました。基本情報処理試験に落ちてしまったのが少し残念ですが、この学校で学んだことは、社会に出た後も役に立つと思うので、活かしていきたいと思いいます。

授業だけでなく、旅行や、野外体験、スポーツ大会等のクラスメイトと親しくなる機会が多くあったことも印象に残っています。これからもこれらの機会を大切にしていってもらえたらなと思いいます。

ITスペシャリスト学科の学生として、一番印象に残っているのは卒業研究です。私は、ゲーム製作を卒業研究のテーマにし、開発を進めていくうちに、ゲーム制作の大変さや楽しさ等が分かってきました。卒業後は、ゲーム制作も趣味の一環としてやっていきたいと思いいているので、学校にいる間に体験ができて良かったと思いいます。

学校生活全体を通して、一番印象に残り、一番お世話になったと思いいていることは、就職関係の授業や、就職に関するアドバイザーや協力等です。就職に関係する授業では、筆記だけではなく実際にやってみたり、学校を卒業した方々の話を聞いたり、合同面接会に行ったりと、高校では教わることのできなかつた様々なことを勉強する



まず、私がこの学校へ入学した理由として、ゲームプログラミングになりましたという夢がありました。入学前からフリーで配布されているゲーム制作ソフトを活用してオリジナルのゲームを作ってみたり、PCの知識もある程度あったので、プログラミングの勉強には割と難なく溶け込むことができました。しかし、一年も半年が過ぎ、だんだん内容が難しくなっていくにつれてついていけなくなりました。プログラミングというのは覚えることが非常に多く、多くのプログラムを作成するという経験も重要です。もともと勉強自体

ことができ、先生方の協力のおかげで無事就職することができました。卒業後は、学んだことを活かし、社会人として恥のない行動を取れるよう努力してゆきたいと思いいます。

最後に、これまで様々な形で協力や指導をしてくださった先生方、本当にお世話になりました。ありがとうございました。この学校に入ってから良かったと思いいています。これから社会人となり、様々な困難に立ち向かうことになると思いいますが、これまでの経験を活かし、乗り越えてゆきたいと思いいます。

卒業までの二年間を振り返る

矢澤 佑紀

卒業まであと二週間わずかです。長いようで短い二年間でした。卒業までのこの二年間はITスペシャリスト学科ということもあり、プログラミングの勉強づくしでした。そのような二年間で私が感じた事や学んだ事がたくさんあります。それを振り返ってみようと思いいます。

知識を応用して日常的に自然に活用できるようになると、今度はPCの設定を自分好みにカスタマイズすることも楽しく感じるようになってきました。それまでは、この設定を変えればもっと環境が良くなるんじゃないかと思いい試してみようとした事が何回もありました。しかし設定を変える事がめんどくさく感じました次の機会に変更すればいいと思いいしまつたり、更に下手にいじればPCが正常に動作しなくなるかもしれない、という不安からなかなか手をつけられない事が多かったです。最近では家族に頼まれたらPCをうまく設定して使いやすくしたり、説明するのが少し楽しいと思いいています。

これらの学生生活を振り返って、欠席、遅刻が多かったり、成績もよくなため他人から見たら実際充実した二年間には見えないかもしれせん。しかし、自分の中で学んだ事、特にプログラミングに関してはとても多かつたと思いいます。この経験を是非これらの人生に生かしていきたいと思いいます。



ゆめみらいでの二年間

伊原名惟瑠

私は最初、高校生の時に全商簿記を習っていたので、ゆめみらいでは日商簿記を勉強したいと思いいこの学校に入学しました。簿記だけでなく、他の資格の勉強もすることは知っていましたが、私はパソコンを趣味で使う程度にしか扱ってこなかったため、WordやExcelの機能を十分に生かせるだけの知識がなく、正直資格が取得できるか不安でした。

また、私だけではありませんでした。が、タッチタイピングは独学だったので本来のホームポジションでキーを打つことが難しく、私はずっと手元のキーを見ながら打っていたので、画面を見ながらのタッチタイピングは大変でした。

他にも、入学したとき今年は何人かが多いと言われましたが、やはり二十人前後のクラスは初めてだったことや、



中学や高校では殆ど年の変わらない人とクラスが同じでしたが、ゆめみらいでは幅広い年代の人が来るとも聞いていたので馴染めるか心配でした。

入学した頃は学校の環境になじめるが、資格が取得できるかなど不安要素ばかりが沢山ありましたが、今ではWordやExcelもある程度使いこなせるようになり、タッチタイピングは打ち間違えることがあっても、もう手元を見なくても打てるようになったので安心していきます。

また、資格も思ったよりも沢山取得できて安心しました。一年生の時は資格取得といっても三・四級程度だったので頑張ればついて行けると思っていました。二年生になると二級の勉強が始まったのでついていけるのかいつも不安でした。不合格の時は悲しかったですが、受けた殆どの資格は合格できたので、とても嬉しかったです。

資格取得もとても嬉しかったのですが、一年生の時に行ったUSJやスポーツ大会などを通して友人と親しくなれたことが私の中で一番嬉しく思っています。不安ばかりで入学をしましたが、今はこの学校に入学し、二年間を先生やクラスの人と過ごせたことが私の中でも素晴らしい思い出になりました。

二年間、騒がしい生徒だったと思いますが、先生方、クラスの皆様、本当にありがとうございました。



二年間を振り返って

小川原 悟

飯田ゆめみらいICTカレッジに入学し、多くの思い出がありました。

入学する前はビジネス学科かスペシャリスト学科が大変迷った記憶があります。専門学校というものをそこまで知らなかったため、どういったレベルの内容をするのがわからずに迷った覚えがあります。ビジネス分野の勉強を今までしたことが無く、ネットワーク分野、電気分野、情報技術分野と学んで来たので、スペシャリスト学科ではなくビジネス学科の方が学ぶことが多いと思いい、ビジネス学科を選びました。

その結果といえるかはわかりませんが、ビジネス学科で学ぶ内容は今までやったことのないものが多く、簿記や電子会計などといった事務関連の授業が大変難しかったです。そのビジネス学科の勉強と共に、独学でスペシャリスト関連の勉強もし、スペシャリスト分野の資格等も取っていきました。

一部取れたはずの資格が取れなかったという事態にもなり残念でしたが、多くの資格を取得することができました。入学してすぐと思ったことが、思ったより生徒数が多かったことです。一学年前には入学者数が十人という少なさと聞いていたので入った時の二十人弱という人数はとても多く感じました。前年度はほぼ先生と一対一で大変わかりやすい授業という部分が大変魅力的だったので、少し不安にはなりませんでした。

一学年の頃には新入生歓迎会として、ユバースタジオジャパンに行きました。何人かで、バック・トゥ・ザ・フューチャーに乗りましたが、大変リアルで、自分のいる場所を勘違いするほどでした。帰りに写真を撮ろうとしたらとても高く、驚きの声をあげるなど、退屈しませんでした。

二年生の時はスポーツ大会で最後の試合では、諸事情から最初の方しかでることができませんでしたが、それまでは出ることができ、さらに優勝までできて、とてもうれしかったです。翌週まで筋肉痛を引きずることになりましたが、大変楽しい思い出となりました。

最後になりましたが、入学から卒業までの二年間、お世話になった教師の先生方、いろいろとわからないことを教えてくれた事務の先生方、本当にありがとうございました。

卒業にあたり思うこと

加藤 智之

この二年間の学生生活を振り返って、とても楽しい二年間だったと思います。高校を卒業して、この専門学校に入学した時は新生活への不安で大変でした。入学してからの一年間は、勉強が大変でした。資格をなるべく多く取得

するためにいろいろな勉強をして覚えるのが特に大変でした。しかし、その勉強をしたおかげでいろいろな資格が取得できたのが良かったです。卒業するにあたって思うことは、三つあります。

一つ目は、学生生活をもっと楽しめば良かったことです。特に一年生の時は、学校に来て、授業を受けて、授業が終わったらそのまま家に帰るという毎日でした。一年生の途中からアルバイトを始めたことで、それまでよりはまだ良い生活を送れるようになりました。そして、二年生になってからサークルの代表になったり就職活動が始まったりして忙しくなるにつれて、一年生の時よりもっと良い生活を送れるようになりましたが、その分辛いこと

も多くなりました。なので、一年生の時にもっと楽しんでおけば良かったと思います。

二つ目は、二年目の勉強をしっかりとすれば良かったということです。一年生の時は勉強をよくしていたのですが、二年生になってからバイトやサークル、就職活動などで忙しくなっていました。勉強が出来なくなっていました。勉強ができていないことで、取得することが出来なかった資格もたくさんあったことが、今となっては残念に思っています。

三つ目は、人見知りを少し治すことが出来ました。中学や高校時代は、友達以外と接することが苦手で、ほとんどの人と会話をすることができませんでした。しかしこの専門学校でサークル活動などを行うことで、だんだんと人との接し方が分かるようになり、いろいろな人と話せるようになれて、とても嬉しく感じました。自分が研修などで落ち込んでいる時に、友達や先生に励ましてもらえたことが、とてもありがたかったです。

この専門学校を通して、友達の大切さや人生の厳しさに気付けた二年間になったのではないかと思います。



この専門学校を通して、友達の大切さや人生の厳しさに気付けた二年間になったのではないかと思います。

学生生活を振り返って

後藤 桃子

他人より少々遅い自立ではあったでしょうが、自身の将来について初めて真剣に考えた上での入学でした。

もう一度社会に出るために、必要な知識を得たり、覚悟を決めたりしなければならぬ、親からもらった最後の二年間でした。

毎日決まった時間に起き、お弁当とお茶を作り、きちんと持ち物を整え、早めに学校に来て教室の空気の入れ替えと冬は暖房などの準備もする事を日課としました。

あまり夜更かしなどもしないようにして体調管理に心がけました。

幸い、良い友人に恵まれ、当初考えていた以上に資格なども取得出来ました。

スポーツ大会においては、皆さんと和気藹々と下手なりに楽しむ事ができ、本当に貴重な体験でありました。



ただ、一年の後期頃からクラスのメンバ―が何人か減っていったのが少々寂しく感じました。

二年になってからは、不束ながら厚生委員を務めさせていただきました。

他人と関わったり、先頭に立って何かをやるといふ事は何よりも苦手なので、毎回戸惑ってばかりで、終わってからもうと別のやり方があったのではと思う事も多くありました。

しかし、清掃の仕方などについて他人よりも真剣に考える機会を持っていたので、今まで気付けないでいた細々とした事にも少し目を向けられるようになったように思い、それは幸いであつたと思えます。

今年度の就職活動は大変厳しく、不安になつて泣いたりもし、先生方には随分とご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。

いただいた仕事は入学当初に志望していたものとは異なりますが、何事もやってみることが大切ですし、楽しいと思えるようになるくらい頑張れたら良いなあと思えます。

初めての一人暮らしでおかしくなっていた短大の頃を思い返すと、社会人としての生活や一人暮らしにはまだ不安もあります。

なので、先輩方のご意見に耳を傾け、自分の出来る限りの事を精一杯やれるよう努めていきたくと考えております。

専門学校で勉強した二年間の感想

小林 穎

二〇〇九年四月、飯田ゆめみらいICTカレッジに入学しました。とても嬉しかったです。もうすぐ卒業式をむかえます。今の心情はとても複雑です。

中国から日本に来て六年になりました。日本の学校に入学し、勉強することは私が日本に来てからの願望でした。その望みが叶ったので、本当に満足しています。

この二年間の学生生活の中では、いろいろと楽しいことや困難なことがありました。

私が、この学校に入学して良かったと思うことは、さまざまな検定に挑戦し、合格し、資格がたくさん取れたことです。入学した時は、あまり持っていなかった資格も二年間で十以上になりました。社会に出てからもきつと役に立つであろう、たくさんの知識を学ぶことが出来てよかったです。また、パソコンは初心者でしたが、今ではだいぶ使いこなせるようになりました。



Word, Excel, PowerPoint, CADなどソフトウェアを使うことできるようになりました。

そして、この学校での一番の思い出は、このクラスでの生活です。私は中国人で、まだ日本語がよくわかりません。入学当初は、授業を聞いて分かるか、友達が出来るかなどよく不安でした。でも、先生たちはとても優しく、辛抱強く私を指導してくださいました。また、この学校で、後藤桃子さんという友人ができました。初めての日本人の友人です。

陳秋綾さんという台湾人の友人もできました。

二〇一〇年二月から就職活動が始まり、松村先生と校長先生には大変お世話になりました。志望動機の書き方や、面接の練習に付き合っていたので、誠にありがとうございました。就職先が決まらないとき、いつも励ましていただいた遠山先生にも本当に感謝しています。

中国には二つのこだわりがあります。『一日为师、終身为父』。これは、ひと

とたび師と仰げば、一生自分の父親のように大事にするという意味です。このことわざの意味するように、先生たちのことは一生忘れません。

最後に、私はこの学校に入学して、たくさん思い出ができて本当に良かったです。友達、先生達のおかげで毎日が楽しくて、一生の思い出になると思います。

二年間の思い出

清水 航士

この二年間はとても成長できた二年間だったと思います。入学した頃は、まだ首がすわってないようなそガキでした。今もそガキですが、就職活動やとでもすばらしい先生方といううちに少し大人になれた気がします。

この学校での思い出は、スポーツ大会ややはり就職活動です。

まず、スポーツ大会は一年の時、すごいはずせーボールの中、プレッシャーに負けサーブをはずし負けたのが今でも忘れられません。二年になってからは体育祭実行委員として、例年よりもっと盛り上がる競技にしようということで四競技にチャレンジしてみました。男子がバスケットボールとソフトボール、女子がバドミントンとソフトボール。やっぱり男子はソフト

ボールやバスケットボールで競い合う方が盛り上がるなあと思いました。スポーツ大会の後の焼き肉ではいつもオラが止まらなくなり、「君のオラで松が枯れてしまふ」と言われたのをつい昨日のように思い出します。今となつては笑い話です。

もうひとつの思い出は就職活動です。私は昔からお腹が弱く、何かあるとすぐお腹が痛くなるでしょうもない子でした。しかし就職活動をしていくうち、緊張に慣れ緊張ではお腹が痛くなくなりました。でも今でも冷たいには勝てません。就職活動はとちとちも二人で夜中まで話し合ったり、切磋琢磨して頑張りました。就職活動で一番大変だったのは、企業に入りたい理由をしっかりと伝えるにはどうしたらいいかということでした。その問題を話し合い、いろんな意見を聞いて、みんなの助けを得て頑張ることができました。みなさん、その節はどうもありがとうございました。

最後に先生方には大変お世話になりました。家族のように和気あいあいとした感じがとても支えになりました。まつんのどなり声、ちーちゃんの笑い声、はっしーの笑顔、みんな個性的です。すべてが私の成長につながりました。本当にありがとうございました。これから社会に出ても頑張っていきたいと思います。また遊びにきます。



二年間の思い出

陳 秋綾

飯田ゆめみらい ICTカレッジに入学して、二年間は本当にあつたという間でした。

日本に来る前は、日本の生活はどうなるだろうか、という不安が大きかったが、なんとか卒業もできて、就職先も決まって、安心しました。授業は日本語なので、専門用語は難しかったが、だんだん慣れてきたら、授業も楽しくなってきました。一番お気に入り



この二年間に取れた資格を活かせるように頑張りたいと思います。

二年間の思い出

服部 真実

一年の後半から、就職活動が始まり、松村先生と校長先生に大変お世話になりました。志望動機の書き方や面接の練習を付き合っていた

学校生活以外には、アルバイトがほとんどでした。最初の半年間はシルクホテルのレストランで、次はキラヤのレジ係でした。バイト先の方々と年が近いので、楽しくアルバイト生活を送ってきました。日本に来て、初めて体験できたことは、数え切れないほど多かったです。日本で初詣に行ったこと、花火祭りへ行ったこと、富士登山したこと、そういう経験は私にとって、一生の宝ものです。そして、冬休みと夏休みに、東京はもろろん、日光、箱根、大阪、京都、奈良、高山・飛騨、岐阜、富士山：などいろんな所へ遊びに行っていました。

二年間を振り返って

服部 真実

まず、いろいろあった二年間ですが、なんとかここまで来られたことを嬉しく思います。

勉強だけだった高校までとは一転して、最初は毎日することがなくどうしたらいいかわからない状態でした。ずるずるとだらけた毎日を送っていると、そういう生活にも途中で飽きてきて、自分で何かやらなければという気になってきました。もともと負けず嫌いだっただけでもあり、それからばかりと食欲に資格取得やバイトに取り組めたんじゃいけないと思います。自分でしっかり考えて行動できるようになったのは、最近で、ようやく気持ちの面でも少し大人になれたかなと思います。

卒業したら、箕輪に引越しますが、休日があったら、また飯田へ遊びに来ます。私にとつて台湾以外に飯田はもう一つの故郷です。日本で一番思い出が多い、美しいところ。そして、クラスメートのみなさんのことは一生忘れません。みんなは可愛かったです。最後に、お世話になった先生方には大変感謝しています。二年間本当にありがとうございました。

二年間の学校生活

松下 俊貴

高校より人数が少なくて喋る人がいるか不安だった。

入学式
清水君は昔から仲良かったのでいつも一緒にいた。
ユニバーサルスタジオジャパン
五月には新入生歓迎会一、二年合同

感謝です。
いよいよ長かった学生の肩書はなくなり、時間の使い方も学生の時とは違ってくると思うけれど、学生のときには出来なかったことも出来るようになると思います。まだまだこの先長い人生、やらなければいけないことも、やりたいことも山ほどあり、四月からどうなるか楽しみにしています。たくさん苦労をして、楽しんで、中身の濃い大人になれたらいいなと思います。

二年間の学校生活

松下 俊貴

同でユニバーサルスタジオにいった。清水くんとふたりでユニバーサルスタジオをまわった。二人でジョーズに乗った。ETのアトラクションにのつたりした。周りからすればあの二人ホモなのかと思われたと思う。

スポーツ大会
六月と十一月に、二年合同でバレーのスポーツ大会があった。賞金がかかるので頑張った。みな先輩の足引っ張らないよう頑張った。
そのあとの焼き肉も楽しかった。でも自分のせいで...ごめんなさい。

卒業式&卒業パーティー
遂に仲良かった二年の人とお別れの日が来た。まさおさん、けんたさん、みなさん、先輩たちにはお世話になりました。三人の先輩に出会えてよかったです。
卒業式後は卒業パーティーがあったが、これもまた楽しかった。先生も普段と違って楽しい人が多かったし、いいパーティーだった。
二度目の入学式
今年の新入生はいっぱいきた。
なんかガラの悪い奴らが



二年間の学校生活

松下 俊貴

今年はお木にいき山を楽しんだ。そこでいろんな新入生と仲良くなつた。意外としゃべりやすく、いい人が揃つてみかけに騙されちゃいけないと学習した。

スポーツ大会
今年はお人数が多いということで、ソフトボールをやった。わくわくした。一年生みんな運動神経よく強かった。とくに牧野さんはめっちゃ強くてかっこよかった。
卒業
入った当初はパソコンでWordやExcelを使うことすらできなかった。それが2年間経つて、かなり使えるようになった。特にキーボードを見ずに打てるようになったのは自分でも凄いなと思う。

卒業式と卒業パーティー
卒業式は、お世話になった先生方には大変感謝しています。二年間本当にありがとうございました。



最初は、家の近くに専門学校があるなんて知らなかったし、専門学校とはどのような場所か、どのような勉強をするのか、どのような年代の人たちが来るのかとわからなくて、環境に早くなじめるかと少し緊張したこともあったけど、今までの学校生活はとてもいい思い出になったと思います。

学校生活の中では、いろいろな行事がありました。一年の時には新入生歓迎会やスポーツ大会などいろいろなことがありました。新入生歓迎会では、ユニバーサル・スタジオリバーに行きました。自分は一回も行ったことが無く今回が初めてで、いろいろな乗り物に乗る事ができ、とても楽しかったです。また、スポーツ大会でも、みんなと楽しくスポーツをする事ができ、とても楽しかったです。



また、勉強のほうでは、自分はパソコンを持っていなかったから、パソコンは少ししか使った経験が無かったので、最初が打つのが遅く、タッチタイピングも自分なりの打ち方で常に手元のキーを見ながら打つていてあまり速く打つことが出来ず、みんなについていけないかと心配になったこともありました。自分

最後に、入学から卒業までの二年間、これまで多くの面倒を見てくれたことや勉強などを教えてくれた先生方、また、就職活動にあたっての指導してくれた先生方、今まで本当にお世話になりました。この学校に入ったことは本当に良かったと思っています。卒業して、これから社会人になり、多くのことが変わっていき大変だと思いますが、これまでの経験を活かし頑張っていきたいと思っています。

経営概論での先輩方の発言は、今の日本情勢を理解し、そこからの考察や意見はとても感動しました。グループ学習では、グループの中心と

「これもいい先生たちのおかげだと感謝しないです。人は少ないけれど、先生との距離が近いから色々話せるし親しくなれてよかったです。この先生はある意味友達感覚に話せる程親近感があつて居心地がよかったです。」

校長先生、松村先生、遠山先生、橋本先生には二年間迷惑かけっぱなしで、「めんなさい。」

ここで学んだこと仕事に生かして頑張りたいです。

支えてくれた先生、友達、ありがとうございます。うございませう。

高校を卒業し、飯田ゆめみらいICTカレッジに入学して、この二年間という短い学校生活の中で、自分はいろいろな思い出や出来事など、今まで知らなかったことをいろいろと学ぶことができたと思います。



「I-Tスペシャリスト学科 一年 桜井 一将」

二年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

一年間大変お世話になりました。先輩方とはあまりお話すの機会がありませんでしたが、みなさんが卒業を迎えた今、もっと交流を深めておけばよかったと思っています。

私の先輩方との思い出といえば、スポーツ大会でした。最初は緊張して話せませんでしたが、ソフトボールの時の守備の位置や作戦を考える時に、先輩の方から話してきてくれて少しずつ打ち解けることができました。また、バスケボールでパスやシュートを失敗した時に、「ドン

「I-Tビジネス学科 一年 宮島 早紀」

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。この学校での二年間は、いかがでしたか？私は、四月に入学し、一年間という短い期間の中で二年生の思い出ができ、とても充実した一年でした。

四月の新生歓迎会は、一年生と二年生の初めての交流の場となりました。ウォークラリーや、BBQしながら先輩方と初めて話しました。まだわからないことだらけの私たちに学校のことをいろいろ教えてくださいました。

経営概論での先輩方の発言は、今の日本情勢を理解し、そこからの考察や意見はとても感動しました。グループ学習では、グループの中心と

「I-Tスペシャリスト学科 一年 桜井 一将」

「I-Tビジネス学科 一年 宮島 早紀」

なりたくさんの意見からまとめ、発表をしている先輩方はかっこよかったです。一年生にはまだまだできないところだと思いき、見習いたいと思いました。

七月・十月にはスポーツ大会がありました。バトミントンやバレーボールでさらに交流をもてたと思います。普段見ることができない先輩方の姿を見ることができ、学校全体で盛り上がる事ができてとても楽しく、心に残る良い思い出となりました。

サークル活動では、バスケボールやドッジボールなどをしました。スポーツを通じて先輩方とさらにコミュニケーションを取ることができ、学校生活をより充実させることができました。これからも、しっかりと引き継いでいきたいと思います。

四月からまた新しい生活が始まり、

卒業生に贈る言葉



キャンパス通信

◎四月
●四月九日(金) 入学式

桜の花も満開となり、好天にも恵まれて二十八名の新入生が、飯田ゆめみらいICTカレッジに入学しました。

二年連続で約十八人ずつ学生が増え、今年は全学生四十六名となりました。会場となった教室は、学生が使用している二つの教室の壁を取り払って一つの部屋になっていますが、ほほいっほいの状態で職員も圧倒されるほどでした。新二年生は、昨日の準備から人数が増えた喜びを噛みしめていましたが、改めて人が多いことに驚き、残りの一年が楽しくなりそうだと、終始笑顔でした(笑)(笑)

今年の新入生は、オープンキャンパスの時から交流が深まって来ていたので、若干緊張の面持ちではありましたが、みんな笑顔でとても良い表情を見せていました。社交的な学生も多いのか、少しの待ち時間でどんどん仲良くなっている様子で、これからの学園生活がとても楽しみです(笑)(笑)

来賓の方もご祝辞で、未来の飯田下伊那を背負って立つ新入生に熱いエールを送ってください、いよいよ二年間の学園生活がスタートです。勉強や資格取得はもちろんのこと、就職活動もいまだ厳しい社会情勢の中で頑張らなければなりません。きつと全員が仲良く助け合って、一つ一つ着実に歩を進めてくれることでしょう。



何事にも前向きに取り組み、実り多き2年間にしてくださいね(笑)(笑)

●四月三十日(金) 新入生歓迎会

今日は新入生歓迎会。例年テーマパークに行っていました。今年はずっと学生同士の交流が深まるようにと、自治会と教職員が計画をして『うるぎ星の森オートキャンプ場』に行きました。学校を8:30に出発し、途中で何人

かの学生を拾いながら10:15現地到着(笑)

天気には恵まれたのですが、空気が冷たくて風もあり、バスを降りた第一声は「寒い(笑)(笑)」みんな意外と薄着だったので、我慢大会のように着た(笑)(笑)

到着してすぐにウォークラリーで、グループに分かれて山の中のクイズを解きながら散策。自然に触れながらみんなで楽しく歩きましたが、なかなか急なアップダウンで暑いくらいでした。

しっかり歩いてお腹もペコペコ(笑)(笑)、まだかまだかと待ちわびたバーベキューは、炭に火を熾すところからです(笑)(笑)



必死に火を熾して、美味しいお肉をお腹いっぱい食べました。グループごとに焼き方は様々で、みんなで焼いているところもあれば、焼き係的に頑張っている人もいて、それぞれに楽しんでました。

バーベキューの片づけがてら少し休憩をして、次は体験コースの五平もちづくり(笑)(笑)とじつくりです(笑)(笑)



五平もちはずでに飯の用意ができていたので、丸めてくしに巻きつけて小判形にのばせば、あとは焼くだけ。外は寒かったけれど、みんなで焼ながら香ばしい匂いでお腹にちよと余裕がで、焼きたての熱々を美味しくいただきました(笑)(笑)

をこねるところから(笑)(笑)(笑)(笑)五平もちグループが食べ終わる頃にようやく最初の焼き始め(笑)。でもみんな楽しそうに生地をのばして具をトッピングしていました。なんだかんだであつという間に一日が過ぎ、寒かつたけれど学生全員で楽しく交流を深めることができました(笑)(笑)

バスに酔った学生はいましたが、怪我もなく全員元気に行ってきたことができて良かったです。明日からはゴールデンウィークですが、休み明けからまた楽しく学園生活を送りましょう(笑)(笑)

◎六月

●六月十一日(金) パソコン講座

飯田ゆめみらいICTカレッジ協賛会総会が開催され、終了後にパソコン講座が開講されました。そのパソコン講座で、当校の二年生六名がアシスタントとして入らせていただきました。

六月中旬ともなるとさすがに夏らしくなり、暑い中での講座になつたので、緊張している学生は大汗をかいて頑張っていました(笑)(笑)

講座の内容は『顧客住所録の作成とラベル印刷』です。企業で活躍の方々に受けていただいたので、データの整合性に問題のあるデータの表記を関数を使って統一する方法や、重複データを削除し一意のデータの表に修正する方法など、ちよと難しいけど活用術が盛りだくさんでした。

講師の先生が説明するだけでは、実際にどこをクリックすればいいのかさき分りづらかつたりするのがパソコン講座の難点ですが、アシ



スタントが受講者の隣で直接説明をすることで解決され、講座もスムーズに進みます。当校に入学してから一年以上が経過し、パソコンスキルもかなりアップした学生ですから、活用術はお手もの(笑)(笑)そして、アシスタントとして教えるための勉強もしたので、最初は硬さのあつた学生も徐々に硬さが取れて、一生懸命教える姿もよくかたのもしく、活き活きとした表情には自信も表れていました。

平成22年度各種資格・検定等合格者

資格・検定等	合格者氏名	優秀表彰者
情報処理技術者試験 基本情報	北澤慎太郎	
情報処理技術者試験 ITパスポート	伊藤嶺、北澤慎太郎、桐生孝志、田中将寛 小川原悟、後藤桃子、服部真実	
情報検定 情報活用 1級	井原翔、久保田誠、細江宗弘	
情報検定 情報活用 2級	加藤智之、井上裕貴、井原翔、久保田誠 桜井一将、清水一貴、屋神稔二、高柳力也 細江宗弘、宮島早紀、岡田春美	
情報検定 情報活用 3級	朝山拓夢、井上裕貴、井原翔、久保田誠 桜井一将、清水一貴、和田巧、小澤美咲 桐山弦也、熊谷桃子、櫻井勇輝、高柳力也 平沢拓也、福岡亜里沙、細江宗弘、宮島早紀 宮島崇行、赤谷奈那美、小澤希枝、秦真美 牧野史明	
M O S Word2007	小林穎、松下俊貴	
M O S Excel2007	伊藤嶺、北澤慎太郎、田中将寛、後藤桃子、小林穎	
秘書技能検定 2級	伊原名惟瑠	
硬筆書写技能検定 3級	井上裕貴、井原翔、桜井一将、和田巧、大平琢也 櫻井勇輝、高柳力也、細江宗弘、宮島早紀 赤谷奈那美、岡田春美、小澤希枝、牧野史明	
秘書技能検定 3級	伊原名惟瑠、加藤智之、後藤桃子、服部真実	
ビジネス能力検定 3級	井原翔、久保田誠、桜井一将、和田巧 大平琢也、熊谷桃子、細江宗弘、宮島早紀 赤谷奈那美、岡田春美、小澤希枝、秦真美	
実用英語技能検定 2級	細江宗弘	
実用英語技能検定 3級	邱垂晟、小澤美咲	
日商PC検定 文書作成 2級	伊原名惟瑠、小川原悟、加藤智之、後藤桃子 清水航士、服部真実	
日商PC検定 文書作成 3級	井原翔、久保田誠、大平琢也、小澤美咲、熊谷桃子 高柳力也、平沢拓也、福岡亜里沙、細江宗弘 宮島早紀、宮島崇行、小澤希枝、岡田春美	
日商PC検定 データ活用 3級	大平琢也、小澤美咲、熊谷桃子、高柳力也 細江宗弘、平沢拓也、宮島早紀	
日商電子会計実務試験中級	小川原悟、後藤桃子、小林穎	
日商電子会計実務試験初級	伊原名惟瑠、小川原悟、加藤智之、後藤桃子 小林穎、清水航士、服部真実、松下俊貴	
日商簿記検定 2級	細江宗弘	
日商簿記検定 3級	加藤智之、大平琢也、小澤美咲、細江宗弘 岡田春美	
日本語検定 2級	服部真実	
日本語検定 準2級	伊藤嶺、桐生孝志、後藤桃子	
日本語検定 3級	井上裕貴、井原翔、大平琢也、小澤美咲 熊谷桃子、高柳力也、細江宗弘、宮島早紀 岡田春美	岡田春美
日本語検定 準3級	久保田誠、桜井一将、中島聖仁、宮島崇行 小澤希枝、秦真美	
日本語能力試験 2級	小林穎	
ニュース時事能力検定 2級	後藤桃子、小林穎、小澤美咲、岡田春美	
ニュース時事能力検定 3級	北澤慎太郎、伊原名惟瑠、小川原悟 加藤智之、清水航士、井原翔、桜井一将 大平琢也、熊谷桃子、細江宗弘	
医療秘書技能検定試験 3級	岡田春美、小澤希枝、牧野史明	岡田春美
医科医療事務技能認定試験	岡田春美	

春から始めるパソコン!

趣味発見
「おもしろパソコン塾」

受講生募集のご案内

おもしろパソコン塾は
こんなパソコン教室です

1時間あたり625円の安心料金!(1か月5,000円のお月謝制)以前習ったけど忘れてしまったこと、日常使える文書の作成方法などなど、かゆい所に手が届くパソコン教室テキストに沿って週1回のペースで、じっくりゆっくり納得いくまで!とにかくみんなでわいわい楽しく!

現在約50名の方が楽しく学んでいます

日程/4月~9月(週1回全24回)
月謝/5,000円(1時間625円)
月ごとに集金します(テキスト代別)
詳しい日程・時間等は、下記までお問い合わせ下さい。資料をお送りいたします。

講座のお申し込み・お問い合わせは



学校法人コア学園【旧飯田コンピュータ専門学校】
飯田ゆめみらいICTカレッジ

〒395-0823 飯田市松尾明7591

TEL 0265-22-5111(代) FAX 0265-22-5100

編集後記

卒業生の言葉、キャンパス通信などに目を通していただくと、今年もさまざまな出来事があり、一年間があつたという間に過ぎたことを実感します。特に年末に起きた、文科省委託事業費の不

正受給事件では、地域の皆様は勿論、学生諸君にも大変な迷惑と心配をかけ、心からお詫びを申し上げます。また、心を痛める風評にも毅然とした態度で日々の努力を重ねてくれたことに、改めて感謝を申し上げます。来年度は心機一転、さまざまなことに積極的に取り組み、年間を通して明るい話題がいっぱいの学園にしたいものです。

平成23年度 入学生募集

最終選考 3月26日(土)

- ITスペシャリスト学科 【2年制】
- ITビジネス学科 【2年制】
- IT医療事務学科 【2年制】
- IT専攻科 【1年制】

- 出願資格
高等学校卒業(見込み)または同等の学力を有するもの
- 選考方法
書類・教養試験・適性試験・面接

就職に強い!!	資格取得数	ダブルライセンス資格
就職率 100% 2009年度実績	536件 2009年度実績	IT関連資格+各学科の専門資格の取得で他者との差別化

■ 特待生制度 (入学金の全部~一部が免除)

- I 類: 入学金 全額免除 150,000円
- II 類: 入学金 一部免除 100,000円
- III 類: 入学金 一部免除 50,000円

■ 奨学金制度 (日本学生支援機構その他)

- ノートパソコン貸与 (在学2年間、実習用ノートPCを無償で貸与)